

住みやすい住環境

高齢化に伴い利用者様からの要望があった玄関や浴室に手摺をつけたり、床材を敷き段差解消をしたり、連絡通路にサーチライトを設置したりなど、よりよい住まいの場になるよう改修工事を行いました。

今後も利用者様の視点に立ち、要望を聞きながら住みやすい住環境を提供していきます。



コロナ禍での余暇活動



コロナ禍ではありましたが、「心身ともに健康で楽しい生活を送って欲しい！」という思いから、外食ができないときはテイクアウトでおいしい食事を楽しんだり、フィットマシーンを導入して運動不足を解消したり、心身ともに健康的な生活が送れるよう支援を行いました。コロナが落ち着いてきてからは、近くの公園にピクニックに行き、お昼を楽しんだり、野球を楽しんだり、少しずつ以前の生活に近づくことも出来ました。皆さんの笑顔をたくさん見ることができました。



地域交流の一環として、小来川地区住民との交流会に参加しました。一緒にそばをうったり、レクリエーションをしたりと、楽しいひと時を過ごしました。地域の皆様に理解をしていただけるようなグループホームを目指します。

災害時の避難ルート確認

散歩しながら、災害時の緊急避難所を皆で確認をしています。目印等を見つけ確認しながら、いざという時にスムーズに移動が出来るように楽しみながら散歩に出かけるようにしています。

日ごろから災害時の避難経路、避難行動に意識が持てるように定期的に訓練を行っています。



次年度に向けて

- ◆ 外出の機会を増やし、利用者様が生きがいの持てる生活を送れるように支援していきます。
- ◆ 地域交流に力を入れていき、地域の方と様々な経験を通して理解を深めていきたいと思えます。
- ◆ 利用者様の高齢化・重度化に伴い、支援者の支援技術の向上を図り、幅広いニーズに応じられるよう支援の強化を目指します。